

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	商工業の振興		電話番号	087-839-2411
	基本事業	中央商店街の活性化		事業実施主体	市
	事務事業	中央商店街にぎわい促進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街のにぎわい向上や商業機能の強化を図るため、空き店舗の改装費を支援する空き店舗活用補助等を始め、商店街共同施設の新設・改修事業等に対する経費の一部助成や、平成21年7月に常磐町商店街に開設したフリーザースクエア(フリースク)等を活用して、商店街南部エリア活性化などを行う。				
	30年度概要	空き店舗活用支援事業：9,000千円 地域産業活性化促進事業：15,357千円 商店街活性化促進事業：12,382千円 商店街共同施設事業：0円			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


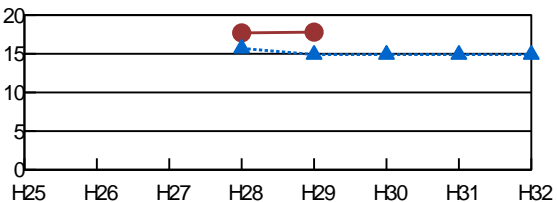

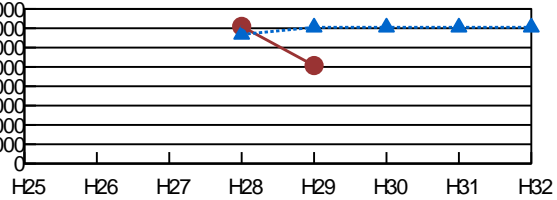
【事業の目的】

対象(何を)	中央商店街の空き店舗率 中央商店街の歩行者通行量
意図(どのような状態にしたいか)	中央商店街の空き店舗の解消 中央商店街の歩行者通行量の増加

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		14	8	13	14

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
中央商店街の空き店舗率	%	目標値		15.7	14.9	14.9	14.9
		実績値		17.7	17.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 事業を実施することで、空き店舗への積極的な出店がなされている箇所がある一方で、一部商店街では引き続き空き店舗率が上昇しており、中央商店街全体の空き店舗率は横ばい状態である。 	(目標達成度)						(達成度) 80.5% 28点
中央商店街の歩行者通行量	人	目標値		133,577	141,000	141,000	141,000
		実績値		141,928	101,422		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 事業の実施によって中央商店街の歩行者通行量が増加傾向にあったが、平成29年度は歩行者通行量の調査当日に台風が接近したため、目標値を大きく下回る数値となっている。 	(目標達成度)						(達成度) 71.9% 25点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	707,705	41,727	49,344	44,250
(事業費)	[千円]	701,640	33,955	41,833	36,739
(職員人件費)	[千円]	6,065	7,772	7,511	7,511

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>B</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>改善継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度の新規出店補助制度は前年に比べ件数としては、制度外の要因で出店断念に至ったケースもあり減少したものの、引き続きニーズがある制度と考えられる。施設整備については、各商店街からの事業相談時に十分ヒアリングし、効果的に実施する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高松市中心街地活性化基本計画に基づくものであり、市の活力を増進するためには、中央商店街の活性化は必要であり、出店しやすい環境を整えるとともに、より一層商店街の魅力向上を図るため、事業を改善しながら継続することが必要である。